

### 概要

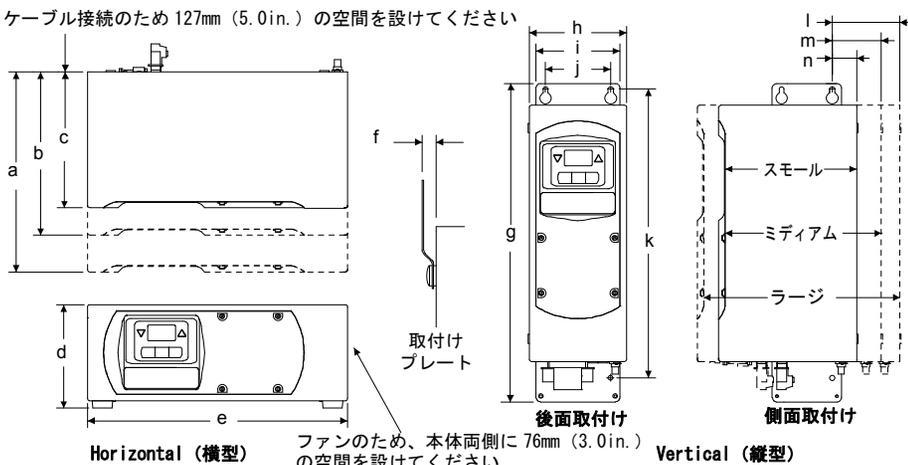
本クイックスタートガイドでは、DCX S パワーサプライの基本的な据付けおよびセットアップの方法について説明します。

通気、環境要件、パワーサプライの運転、Web ページ・インターフェースへのアクセス、メンテナンス、トラブルシューティングについて詳しくは、パワーサプライの取扱説明書を参照してください。

### 据付け位置

DCX S パワーサプライでは、3通りのサイズを提供しています。パワーサプライには、作業台に載せて運転させるタイプと、縦に取り付けるタイプの2種類があります。

ケーブル接続のため 127mm (5.0in.) の空間を設けてください



| 寸法 | 単位: mm | 単位: インチ | 寸法 | 単位: mm | 単位: インチ |
|----|--------|---------|----|--------|---------|
| a  | 270    | 10.63   | h  | 132.6  | 5.22    |
| b  | 219.2  | 8.63    | i  | 114.3  | 4.5     |
| c  | 187.4  | 7.38    | j  | 89     | 3.5     |
| d  | 140.5  | 5.53    | k  | 400    | 15.75   |
| e  | 355.6  | 14.00   | l  | 91.9   | 3.62    |
| f  | 7.9    | 0.31    | m  | 66.5   | 2.62    |
| g  | 441.5  | 17.38   | n  | 33.3   | 1.31    |

| サイズ | スモール          | ミディアム         | ラージ         |
|-----|---------------|---------------|-------------|
| 重量  | 7.25kg (16lb) | 8.16kg (18lb) | 10kg (22lb) |

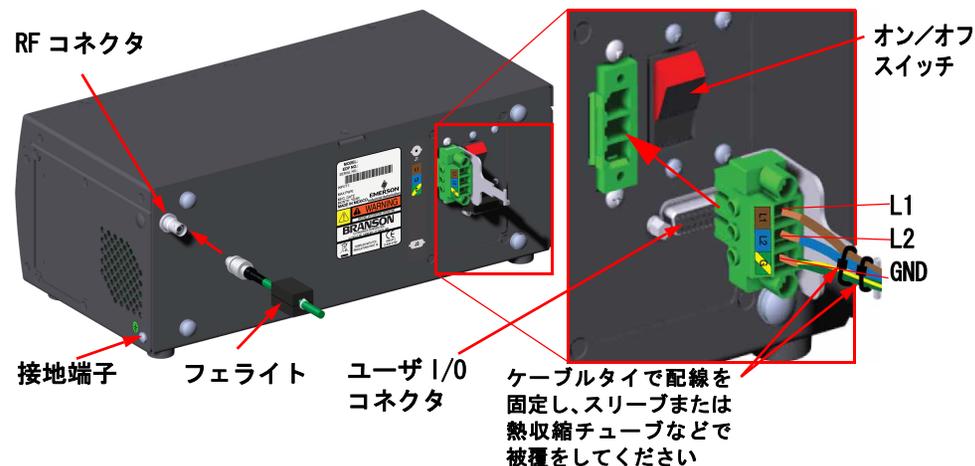
### パワーサプライを接続する



#### 警告

- ・ 配線接続を行う前には必ず、電源を切断してください。
- ・ 電気系統を接続する前には必ず、装置後面にある電源スイッチをオフ (OFF) にしてください。
- ・ パワーサプライは必ず、接地された電源に接続してください。
- ・ AWG8 ゲージまたは相当品の接地用電線をパワーサプライ排気口の横にある接地端子に固定して、接地を行ってください。
- ・ パワーサプライの据付けは必ず、有資格者が地域の規格および規制に従って行うようにしてください。

1. パワーサプライ後面にあるコネクタブロックを取り外します。
2. (AWG12 ゲージ、または  $\phi 2.5\text{mm}$ 、または地域規格に準拠した) 適切な寸法の配線 3 本を、図で示したコネクタブロックの L1 (ライン 1)、L2 (ライン 2)、GND (アース) に接続します。装置後面に貼付されたラベルに記載の定格電流に従って、線を選択します。必ず装置を使用する地域の公的機関が認可した線材を使用してください。また、配線とコネクタの接続部は絶縁スリーブや熱収縮チューブなどで二重絶縁を施してください。
3. ケーブルタイを使用して、コネクタブロックの金属ピースに線を固定します。
4. AWG8 ゲージまたは相当品の接地用電線を、パワーサプライ排気口の横にある接地端子に固定します。
5. RF ケーブルを使用して、コンバータ/ブースタ/ホーン・スタックをパワーサプライに接続します。フェライトコアがある側のコネクタを、パワーサプライに接続します。
6. 装置後面の電源スイッチが、オフ (OFF) の位置にあるかを確認します。コネクタブロックをパワーサプライに差し込み直します。2本のねじを締めます。
7. パワーサプライは、50Hz または 60Hz、200V ~ 230V の、接地された単相 3 線タイプの電源に接続してください。



### I/O 接続部 (26 ピン高密度 D-SUB コネクタ)

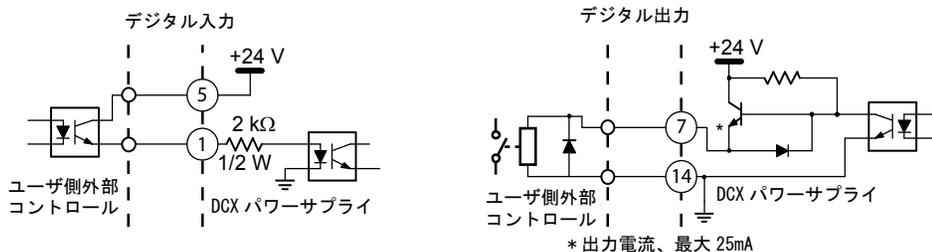
#### ユーザ I/O コネクタのピン割当て\*

| ピン | I/O の種類              | 機能                            | 内容                            |
|----|----------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1  | Input Digital        | External Start                | + 24VDC を印加してサイクルを実行          |
| 2  | Input Digital        | External Seek                 | + 24VDC を印加してシークを実行           |
| 3  | Input Digital        | External Reset                | + 24VDC を印加してアラームをリセット        |
| 4  | Input Digital        | Memory Clear                  | + 24VDC を印加してメモリを消去           |
| 5  | I/O Signal Source    | +24 VDC Source                | + 24V、最大 250mA                |
| 6  |                      |                               |                               |
| 7  | Output Digital       | Ready                         | + 24V、システムの動作準備完了状態           |
| 8  | Output Digital       | Sonics Active                 | + 24V、超音波発振中                  |
| 9  | Output Digital       | General Alarm                 | + 24V、アラーム発生                  |
| 10 | Output Digital       | Seek/Scan Out                 | + 24V、シークまたはスキャン実行中           |
| 14 | I/O Signal Return    | +24 VDC Return and I/O Return | ピン 17、18、24、25 を除くすべてのピンにリターン |
| 15 |                      |                               |                               |
| 17 | Input Analog         | Amplitude In                  | 1V ~ + 10V (10% ~ 100%)**     |
| 18 | Input Analog         | Frequency Offset              | 1V ~ + 9V (5V はゼロ・オフセット)**    |
| 24 | Output Analog        | Power Out                     | 0V ~ + 10V (0% ~ 100%)        |
| 25 | Output Analog        | Amplitude Out                 | 0V ~ + 10V (0% ~ 100%)        |
| 26 | Analog Signal Return | Analog Signal Return          | ピン 17、18、24、25 にリターン          |

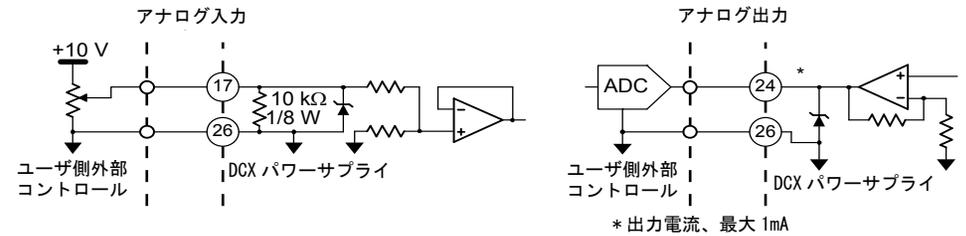
\* この表に記載しているのは、出荷時のピン割当てです。ピン 1 ~ 4 およびピン 7 ~ 10 は、DCX Web ページ・インターフェースを使用して構成できます。デジタル I/O 機能の構成については、パワーサプライ取扱説明書を参照してください。

\*\* 入力信号が有効範囲にない場合、もしくは対象となるユーザ I/O ピンに配線が行われていない場合には、振幅設定 50% となり、オフセット設定はゼロオフセットになります。

#### 一般的なデジタル I/O 配線例 :



#### 一般的なアナログ I/O 配線例 :



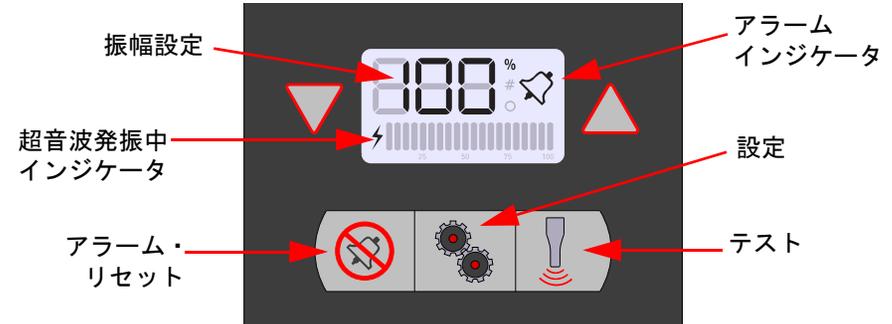
### 機器のテスト

パワーサプライが正しく動作するかをテストするには、以下の手順で作業します。



#### 警告

- ・ パワーサプライをテストする際は、ホーンに誰も触れていないことを確認してください。
- ・ RF ケーブルまたはコンバータが外れている場合は、溶着システムをサイクル運転させないでください。



1. 1 ページ目の「パワーサプライを接続する」の記載に従って、パワーサプライを正しく接続しているかを確認します。
2. パワーサプライの電源を入れます。フロント・パネルの電源オン LED が点灯し、LCD モニタが表示されます。
3. テスト・キーを 1 ~ 2 秒間押し続けてから、指を離します。テスト・キーを押している間は、超音波発振中インジケータが表示されます。パワーサプライのアラームインジケータが表示されなければ、テスト手順は終了です。
4. アラームインジケータが表示された場合は、アラーム・リセット・キーを押して、手順 2 を 1 度だけ繰り返します。アラームが解除されない場合は、パワーサプライの取扱説明書を参照してください。

#### DCX Web ページ・インターフェースの IP アドレス初期設定 :

IP address: 192.168.10.100

Subnet Mask: 255.255.255.0